

## 1. 平成20年産大豆入札取引の概況

### (1) 取引参加者登録状況（表1-1-1）

売り手登録者は、前年産と同じく全農、全集連の2者であった。

買い手登録者は、法人、個人合わせて180者で前年産の184者からやや減少した。

また、同一の法人で本社、支社等がそれぞれ参加する場合にそれぞれを1とした事業所数ベースの登録者数は、187者で前年産の192者から5者減少した。

（以下、入札者数等は、事業所ベースによる。）

表1-1-1 平成20年産大豆入札取引登録者数

区分	平成20年産	前年産
売り手登録者	2	2
買い手登録者 (事業所数)	182	187
事業体数	189	180
うち新規	7	2
うち継続	182	178

注1. 買い手登録者数(事業所数)は、同一企業で複数の事業所(本店、支店等)を登録した場合、それぞれを1と数えた数である。

注2. 継続には、会社組織が変更になる等で新規の組織が以前の組織から業務を承継した場合を含む。

### (2) 入札取引開催状況と入札参加状況

平成20年11月26日の第1回から平成21年9月16日の第19回までの計19回の開催であった。月別には11月、1月、9月各1回、12月及び2月以降8月まで各月2回開催した。(表1-1-2)

各回の入札者数(図1-1-1)は、第11回(5月13日)の78者が最も多く、第1回(11月26日)の22者が最も少なかった。全期間を通じてほとんどの回で入札者数が平成19年産を下回った。

入札回数別買い手登録者の分布(表1-1-3)をみると、前年産に比較して入札回数11回以上の割合が低くなり、10回以下の割合が増加した。また、一度も入札しなかった買い手登録者は、56者(前年産44者)であった。

表 1-1-2 平成20年産大豆入札取引開催状況

入札回	入札日	上場者	入札者	ロット数		
		者	者	上場	入札	入札/上場
第1回	平成20年11月26日	1	22	80	87	1.1
11月計				80	87	1.1
第2回	12月10日	2	49	177	201	1.1
第3回	12月24日	2	41	269	217	0.8
12月計				446	418	0.9
第4回	平成21年1月21日	2	64	543	439	0.8
1月計				543	439	0.8
第5回	2月4日	2	56	611	292	0.5
第6回	2月18日	2	68	657	362	0.6
2月計				1,268	654	0.5
第7回	3月4日	2	66	779	385	0.5
第8回	3月18日	2	70	788	452	0.6
3月計				1,567	837	0.5
第9回	4月8日	2	77	816	465	0.6
第10回	4月22日	2	73	842	467	0.6
4月計				1,658	932	0.6
第11回	5月13日	2	78	881	393	0.4
第12回	5月27日	2	62	922	326	0.4
5月計				1,803	719	0.4
第13回	6月10日	2	61	826	317	0.4
第14回	6月24日	2	56	624	231	0.4
6月計				1,450	548	0.4
第15回	7月15日	2	51	548	206	0.4
第16回	7月29日	2	39	373	190	0.5
7月計				921	396	0.4
第17回	8月12日	2	34	301	145	0.5
第18回	8月26日	1	33	318	153	0.5
8月計				619	298	0.5
第19回	9月16日	2	30	345	115	0.3
9月計				345	115	0.3
20年産累計				10,355	5,328	0.5

図 1-1-1 入札回別入札者数（前年産比較）

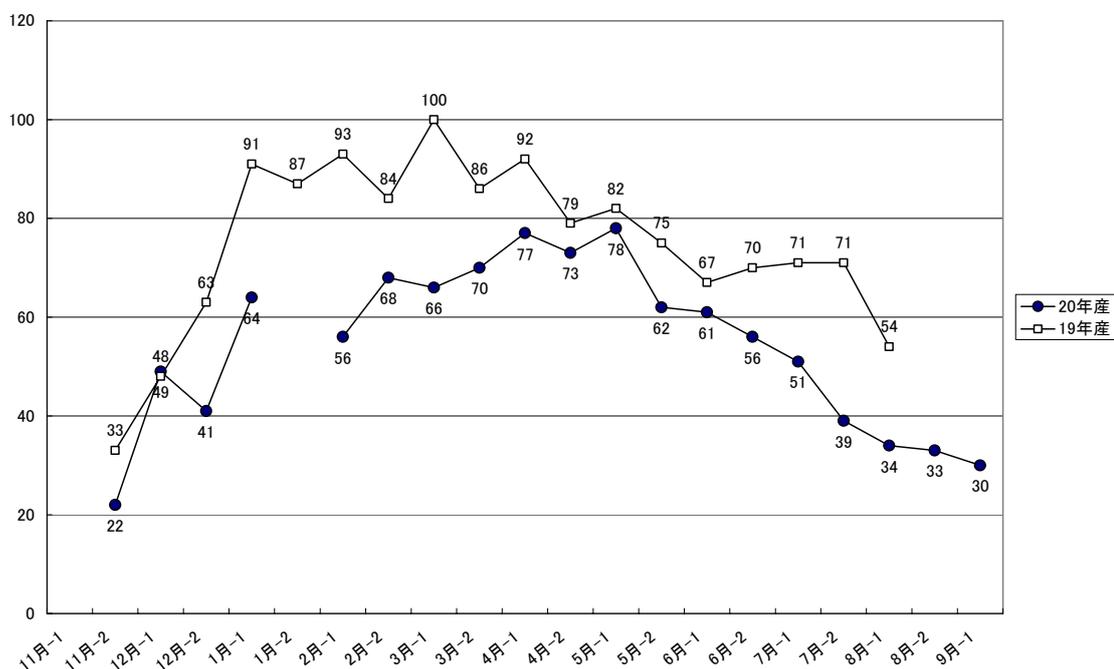


表 1-1-3 入札回数別買い手数(前年産比較)

区分	平成19年産	平成20年産	割合	
			平成19年産	平成20年産
買い手登録者数	187	189	100.0%	100.0%
0回	44	56	23.5%	29.6%
1～5回	44	52	23.5%	27.5%
6～10回	34	42	18.2%	22.2%
11回以上	65	39	34.8%	20.6%

(3) 国産大豆の需給と入札取引数量

平成20年産大豆の生産は、作付面積が全国で8千8百ヘクタール増加し、作柄も前年産を上回ったことから、収穫量は、前年産に比べ35千トン増の262千トンとなった。(表1-1-4)

表 1-1-4 平成20年産大豆生産概況

	19年産	20年産	対前年増減
作付け面積(ha)			
全国	138,300	147,100	8,800
北海道	22,700	24,000	1,300
都府県	115,600	123,100	7,500
収穫量(t)			
全国	226,700	261,700	35,000
北海道	53,600	56,800	3,200
都府県	173,100	204,900	31,800
単収(kg/10a)			
全国	164	178	14
北海道	236	237	1
都府県	150	166	16

資料. 農林水産省作物統計

国産大豆の需給状況を表1-1-5に示す。

平成20年産は、前年産に比べて、収穫量、集荷数量とも3万トン以上増加したが、落札数量は、3万トン以上減少し、集荷数量に対する落札数量の割合は、前年産の34%から12%に低下した。

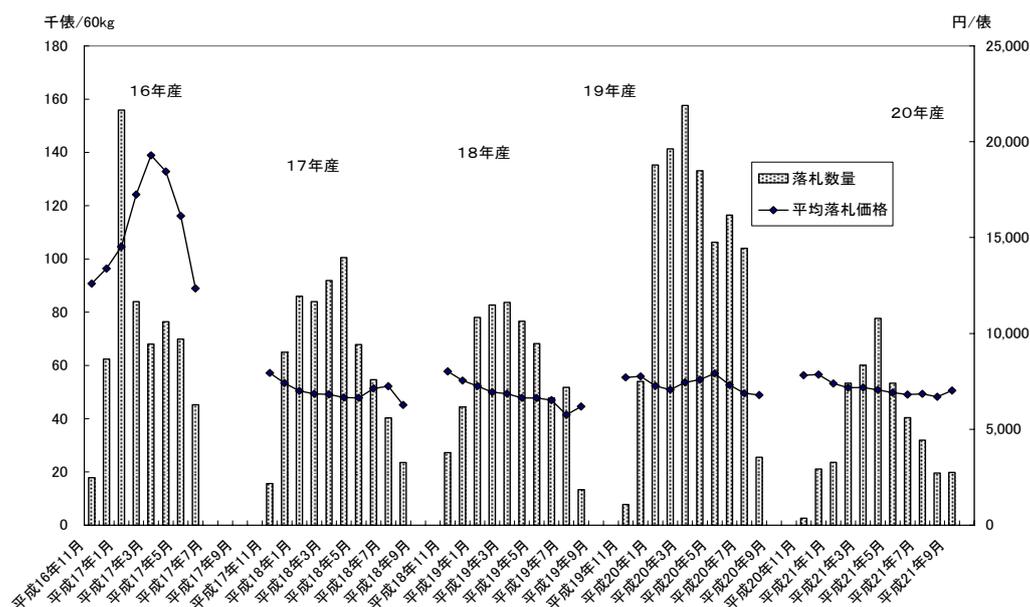
表1-1-5 国産大豆需給の推移

事項	(単位)	平成16年産	平成17年産	平成18年産	平成19年産	平成20年産	増減
作付面積	ha	136,800	134,000	142,100	138,300	147,100	8,800
①収穫量	トン	163,200	225,000	229,200	226,700	261,700	35,000
②検査数量	トン	105,566	156,240	172,780	184,649	218,771	34,122
普通・特定加工用②a	トン	105,006	155,010	171,762	183,170	216,862	33,692
種子用	トン	560	1,231	1,017	1,480	1,909	429
①-②		57,634	68,760	56,420	42,051	42,929	878
③集荷数量	トン	97,637	143,679	163,019	173,828	204,013	30,185
②a-③	トン	7,370	11,331	8,743	9,342	12,849	3,507
④落札数量	トン	34,772	37,752	34,407	58,880	24,211	-34,669
③-④	トン	62,865	105,927	128,612	114,948	179,802	64,854
④/③落札数量割合	%	35.6%	26.3%	21.1%	33.9%	11.9%	

資料. 農林水産省作物統計、農林水産省総合食料局大豆検査結果

平成16年産から平成20年産までの月別の落札数量と平均落札価格の推移をグラフに示す(図1-1-2)。

図1-1-2 月別落札数量・平均落札価格の推移



平成20年産の各月の落札数量は、前年に比較して大きく減少しただけでなく、前々年産以前に比べても少なく、取引が低調な中で推移した。しかし、平均落札価格は、高騰した平成16年産の翌年の平成17年産以降、安定的に推移している。

全農、全集連の集荷数量は30千トン増の204千トンとなり、そのうち、入札取引により販売された数量は、35千トン減の24千トンとなった。

売り手の販売数量(=集荷数量)を入札取引、相対取引、契約栽培取引の3種類の販売方法別数量に区分してみると、入札取引による販売数量(以下、「落札数量」という。)の割合は、19年産では33.9%と価格形成上望ましいとする目標の1/3以上を達成することができたが、20年産では、11.9%と今までにない低い水準となった。(図1-1-3, 表1-1-6)

図1-1-3 販売方法別販売数量の推移

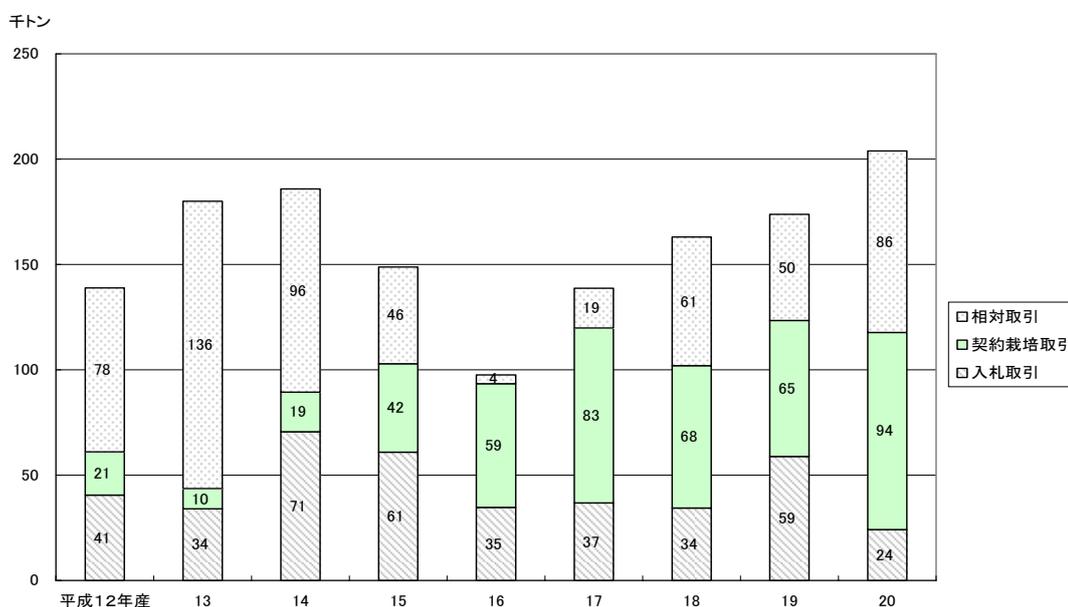


表1-1-6

年産	数量(トン)			割合(%)		
	入札取引	相対取引	契約栽培取引	入札取引	相対取引	契約栽培取引
平成12年	40,563	77,768	20,541	29.2%	56.0%	14.8%
13	34,051	136,313	9,624	18.9%	75.7%	5.3%
14	70,637	96,458	18,767	38.0%	51.9%	10.1%
15	60,936	45,893	41,993	40.9%	30.8%	28.2%
16	34,772	4,164	58,701	35.6%	4.3%	60.1%
17	36,866	18,835	83,034	26.6%	13.6%	59.9%
18	34,407	60,983	67,629	21.1%	37.4%	41.5%
19	58,879	50,410	64,540	33.9%	29.0%	37.1%
20	24,211	86,075	93,599	11.9%	42.2%	45.9%

業務規程において、売り手毎の販売予定数量の総量と販売予定数量が500トン以上の産地品種銘柄(粒区分で産地品種銘柄に該当しない数量を含む。)につい

て1/3以上が入札取引によって販売することが求められているが、その状況をみたのが表1-1-7である。

集荷数量に対する落札数量の割合（落札割合）が30%を上回った銘柄は、北海道、北九州等の主産地以外の産地の銘柄であり、北海道とよまさり、スズマル、佐賀フクユタカ、新潟エンレイ、山形リュウホウ等主要な銘柄の落札割合は、10%を下回った。

表1-1-7 産地品種銘柄別販売実績

(1) 集荷数量に対する落札数量の割合が30%以上の産地品種銘柄

(産地品種銘柄の品種で粒区分で産地品種銘柄に該当しない数量を含む。)

単位：トン、円/60kg

県名	銘柄	平成20年産集荷数量			落札実績 計	落札割合	落札価格
		全農	全集連	計			
千葉	サチユタカ	48		48	30	61.9%	6,853
岡山	トヨシロメ	167		167	102	61.2%	7,053
愛媛	タマホマレ	3		3	2	59.0%	7,400
山口	フクユタカ	172		172	84	48.8%	6,737
山口	サチユタカ	760		760	357	46.9%	6,686
岡山	サチユタカ	134		134	60	44.6%	7,193
広島	サチユタカ	440		440	191	43.4%	6,626
滋賀	タマホマレ	577	24	601	261	43.4%	6,782
奈良	サチユタカ	53		53	22	41.3%	6,725
岩手	ナンブシロメ	1,534		1,534	609	39.7%	6,961
兵庫	夢さよう	106		106	41	38.2%	7,010
鳥取	タマホマレ	213		213	79	37.0%	6,607
福島	スズユタカ	293		293	106	36.2%	6,525
香川	フクユタカ	85		85	31	36.2%	6,894
埼玉	タチナガハ	201		201	71	35.3%	8,084
高知	フクユタカ	124		124	40	32.2%	6,827
鳥取	サチユタカ	743		743	238	32.0%	6,665
島根	サチユタカ	602		602	188	31.3%	6,685
青森	オクシロメ	76		76	24	31.0%	6,644
福井	エンレイ	1,585		1,585	475	30.0%	6,538

## (2) 集荷数量に対する落札数量の割合が30%未満の産地品種銘柄

県名	銘柄	平成20年産集荷数量			落札実績 計	落札割合	落札価格
		全農	全集連	計			
宮城	ミヤギシロメ	4,525		4,525	1,344	29.7%	6,975
岐阜	フクユタカ	3,838		3,838	1,133	29.5%	6,927
静岡	フクユタカ	178		178	50	28.3%	6,791
長野	ナカセンナリ	1,238		1,238	327	26.4%	7,732
島根	フクユタカ	38		38	10	26.1%	6,650
兵庫	サチユタカ	397		397	99	24.9%	6,872
滋賀	ことゆたか	326		326	79	24.3%	6,792
大分	フクユタカ	578	5	583	139	23.8%	6,988
長崎	フクユタカ	702		702	158	22.6%	6,989
群馬	タチナガハ	267		267	59	22.2%	6,717
愛知	フクユタカ	5,675		5,675	1,245	21.9%	6,989
三重	フクユタカ	4,115		4,115	881	21.4%	6,864
山形	タチユタカ	972		972	199	20.5%	6,454
石川	エンレイ	1,802		1,802	368	20.4%	6,545
富山	オオツル	840		840	168	20.0%	6,587
富山	エンレイ	7,474		7,474	1,455	19.5%	6,724
千葉	フクユタカ	306		306	59	19.4%	6,897
愛媛	フクユタカ	358		358	68	18.9%	7,292
宮城	あやこがね	1,165		1,165	208	17.8%	6,693
岡山	タマホマレ	56		56	10	17.7%	7,200
滋賀	フクユタカ	2,992	6	2,998	515	17.2%	6,793
大分	むらゆたか	1,399	85	1,484	245	16.5%	6,826
滋賀	エンレイ	122		122	20	16.4%	7,149
茨城	納豆小粒	1,784	371	2,155	347	16.1%	10,832
福岡	フクユタカ	16,380	207	16,587	2,664	16.1%	6,973
北海道	大袖振	3	70	73	12	15.8%	10,578
新潟	コスズ	66		66	10	15.0%	11,000
長野	タチナガハ	284		284	40	13.9%	6,385
北海道	ユキシズカ	851	969	1,820	253	13.9%	11,128
滋賀	オオツル	2,480	12	2,492	299	12.0%	6,950
秋田	タチユタカ	463		463	50	10.7%	6,570
宮城	タチナガハ	3,015		3,015	307	10.2%	6,785
青森	おおすず	5,095	50	5,145	516	10.0%	6,728
北海道	音更大袖振	993	44	1,037	100	9.7%	7,720
熊本	フクユタカ	4,103	11	4,114	386	9.4%	6,986
北海道	つるの子	447		447	40	8.9%	6,783
北海道	秋田	1,444	36	1,480	129	8.7%	6,916
北海道	ツルムスメ	1,163		1,163	100	8.6%	7,344
島根	タマホマレ	239		239	20	8.3%	6,655
新潟	エンレイ	11,311	15	11,326	911	8.0%	6,566
茨城	タチナガハ	2,794	164	2,958	235	8.0%	6,682
栃木	タチナガハ	7,616	352	7,968	618	7.8%	6,729
福島	タチナガハ	1,290		1,290	99	7.7%	6,640
佐賀	むらゆたか	3,327		3,327	255	7.7%	7,027
秋田	リュウホウ	10,841	235	11,076	841	7.6%	6,684
山形	リュウホウ	2,087		2,087	158	7.6%	6,534

(続き)

県名	銘柄	平成20年産集荷数量			落札実績 計	落札割合	落札価格
		全農	全集連	計			
北海道	スズマル	5,408	318	5,726	381	6.6%	11,611
山形	あやこがね	372		372	23	6.1%	6,656
北海道	とよまさり	30,866	2,005	32,871	1,913	5.8%	7,445
佐賀	フクユタカ	18,492	142	18,634	1,040	5.6%	7,030
北海道	ハヤヒカリ	359		359	20	5.5%	6,000
山形	エンレイ	4,704		4,704	248	5.3%	6,649
長野	つぶほまれ	205		205	10	4.8%	6,500
岩手	スズカリ	852		852	40	4.6%	6,610
宮城	タンレイ	4,850		4,850	218	4.5%	6,770
石川	あやこがね	289		289	10	3.4%	6,500
岩手	リュウホウ	931		931	30	3.2%	6,356
茨城	ハタユタカ	363	47	410	10	2.4%	6,510
秋田	すずさやか	1,780		1,780	20	1.1%	6,235

(3) 落札実績のない産地品種銘柄

県名	銘柄	平成20年産集荷数量			県名	銘柄	平成20年産集荷数量		
		全農	全集連	計			全農	全集連	計
北海道	タマフクラ	7		7	福井	あやこがね	49		49
北海道	大袖の舞	36	24	60	福井	オオツル	21		21
北海道	ゆきぴりか	29	0	29	福井	その他	4		4
北海道	スズヒメ		19	19	長野	すずろまん	49		49
北海道	その他	1	8	9	長野	ギンレイ	229		229
岩手	青丸くん	60		60	岐阜	タチナガハ	62		62
岩手	コスズ	90		90	愛知	その他	1		1
岩手	ミヤギシロメ	106		106	三重	タマホマレ	7		7
岩手	ユキホマレ	17		17	三重	オオツル	31		31
宮城	きぬさやか	518		518	三重	スズオトメ	62		62
宮城	コスズ	145		145	三重	その他	6		6
宮城	その他	15		15	滋賀	その他	1	2	3
秋田	コスズ	122		122	兵庫	オオツル	48		48
秋田	おおすず	56		56	兵庫	タマホマレ	1		1
山形	すずかおり	88		88	鳥取	すずこがね	32		32
山形	スズユタカ	20		20	鳥取	エンレイ	6		6
山形	その他	9		9	鳥取	フクユタカ	9		9
福島	コスズ	21		21	鳥取	その他	1		1
福島	ふくいぶき	88		88	島根	トヨシロメ	2		2
福島	おおすず	19		19	岡山	その他	5		5
茨城	その他		34	34	広島	アキシロメ	71		71
栃木	たまうらら	3		3	広島	ハタユタカ	6		6
栃木	納豆小粒	206	11	217	愛媛	サチユタカ	47		47
栃木	なごみまる	18		18	福岡	すずおとめ	96		96
栃木	すずさやか		187	187	福岡	キヨミドリ	7		7
群馬	ハタユタカ	9		9	熊本	すずおとめ	55		55
埼玉	白光	29		29	大分	トヨシロメ	249	37	286
千葉	タチナガハ	53		53	大分	きよみどり	5		5
新潟	あやこがね	253		253	大分	エルスター	16		16
新潟	タチナガハ	38		38	大分	すずおとめ	17		17
新潟	すずろまん	28		28	大分	その他		2	2
石川	コスズ	23		23	宮崎	フクユタカ	150		150
石川	フクユタカ	25		25	鹿児島	フクユタカ	210		210
石川	その他	1		1					

注. 宮城県産きぬさやかは、販売予定数量500トン以上の銘柄であるが、本品種を加工食品の原料として使用するには特許権保有者の許諾が必要であることから、入札取引にそぐわない銘柄とされたものである。

(4) 入札・落札状況

入札状況を相場・入札ロット数の比較で見ると、ほぼ全期間を通じて入札ロット数が相場ロット数を下回る状況で推移した。

落札結果をみると、落札下限価格未達による不落札が不落札の多くを占め、競争の結果による不落札は少ない状況で推移した。(図1-1-4、5)

図1-1-4 入札回別相場・入札・落札ロット数推移

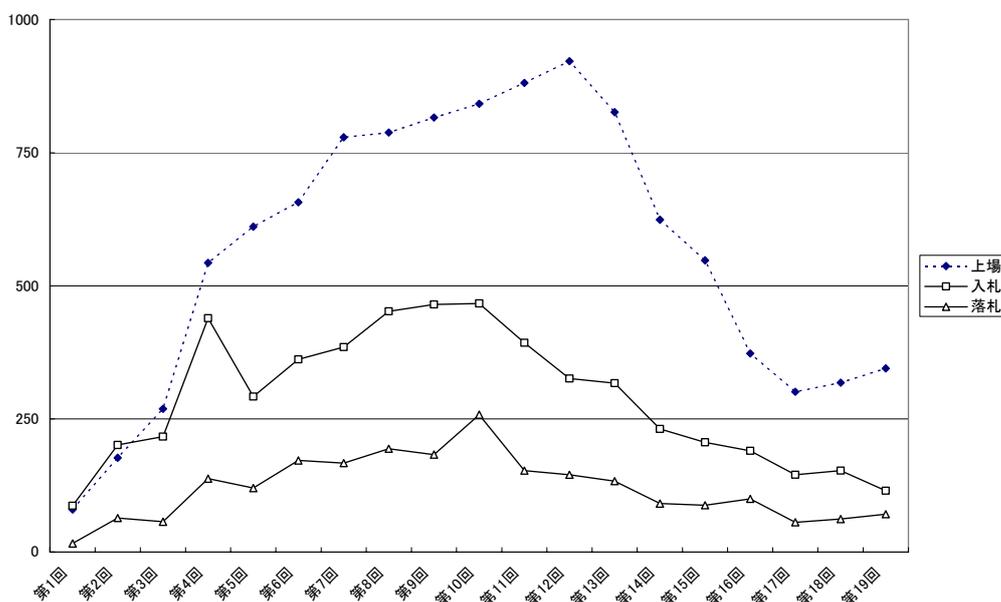
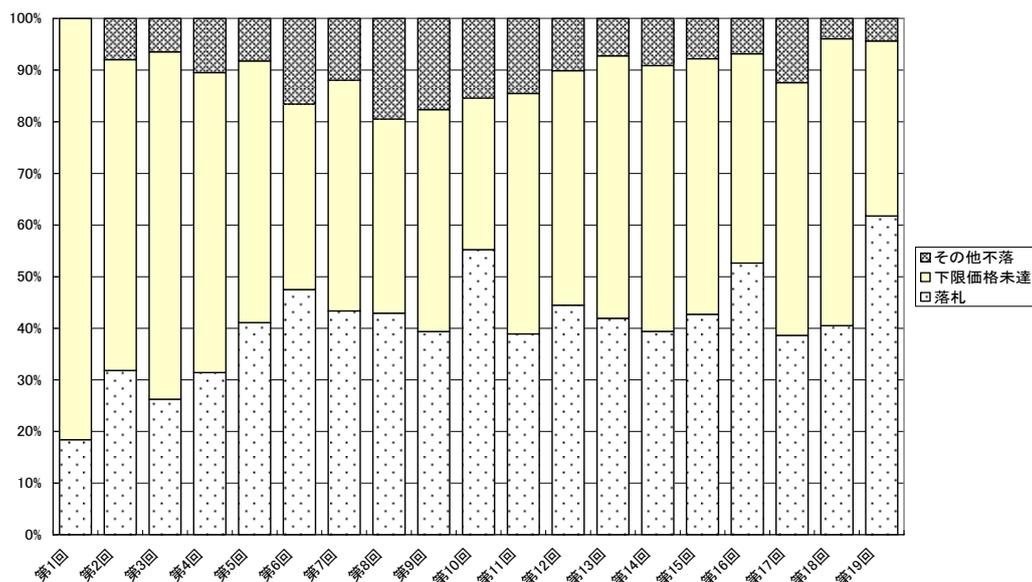


図1-1-5 落札結果別ロット数分布



注. 各回の買い手入札ロットの計を100とした場合のロット数割合  
 数値は、各区分のロット数

下限価格は落札下限価格をいう。

月ごとの落札状況は、表1-1-8のとおりである。

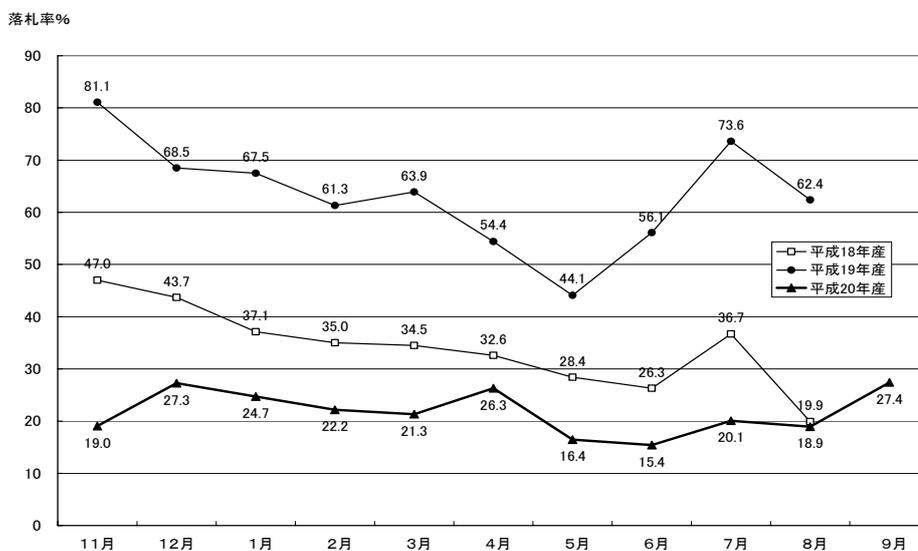
表1-1-8 月別上場・落札数量・平均落札価格・落札率

区分	上場数量 トン	落札数量 トン	落札価格 円/60kg	落札率 %
11月計	831.6	158.4	7,822	19.0
12月計	4,642.4	1,266.2	7,855	27.3
1月計	5,729.2	1,415.5	7,391	24.7
2月計	14,430.8	3,200.5	7,173	22.2
3月計	16,924.2	3,608.1	7,179	21.3
4月計	17,716.8	4,658.1	7,060	26.3
5月計	19,460.9	3,201.1	6,910	16.4
6月計	15,717.0	2,422.8	6,822	15.4
7月計	9,560.0	1,917.5	6,848	20.1
8月計	6,203.9	1,173.8	6,700	18.9
9月計	4,336.2	1,189.0	7,027	27.4
20年産累計	115,553.0	24,210.9	7,079	21.0
19年産累計	98,486.3	58,879.9	7,364	59.8
18年産累計	102,844.2	34,418.5	6,835	33.5

注. 普通大豆・特定加工用大豆合計及びその加重平均落札価格である。

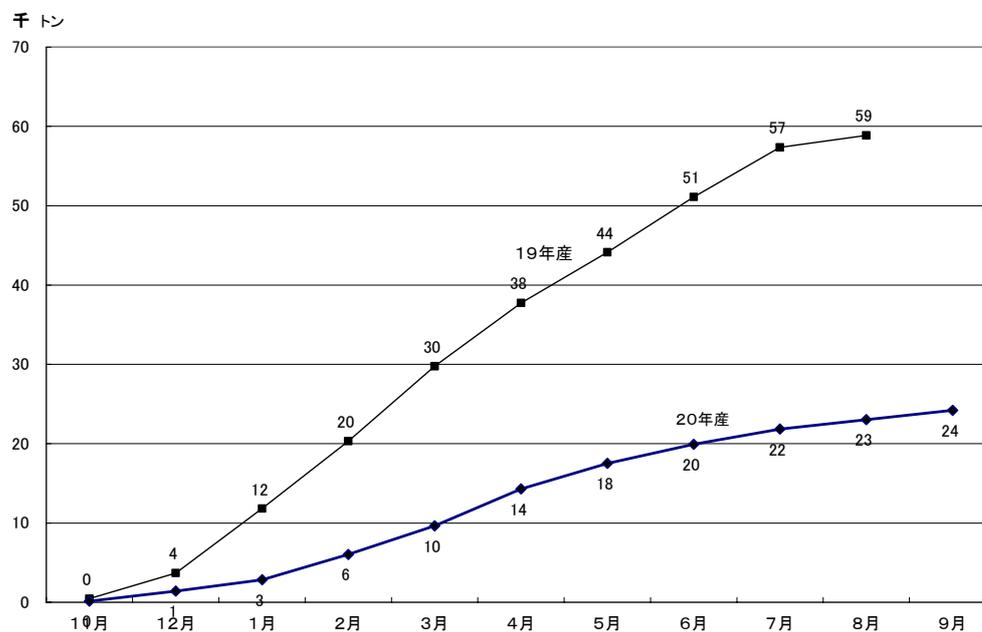
上場数量に対する落札数量の割合（落札率）を月別にみると、最高が9月の27.4%、最低が6月の15.4%であったが、各月とも18年産、19年産を下回った。（図1-1-6）

図1-1-6 月別落札率の推移（年産比較）



各月までの落札数量の累積をみると、前年を大きく下回って推移した。(図1-1-6)

図1-1-7 月別累積落札数量の推移(前年産比較)



取引数量を産地別にみると(表1-1-9)、売り手の集荷数量は、北海道が前年並み、愛知県が減少したが、東北、北陸、九州の主要な産地は、いずれも前年に比べて増加した。

一方、落札数量は、ほとんどの産地で前年に比べて大幅に減少した。

表 1-1-9 産地別別入札取引数量（前年産比較）

単位：トン

区分	集荷数量			落札数量		
	平成19年産	平成20年産	対前年差	平成19年産	平成20年産	対前年差
北海道	44,973	45,100	127	9,665	2,947	-6,717
青森県	4,690	5,221	532	1,987	540	-1,447
岩手県	2,260	3,590	1,330	754	679	-75
宮城県	13,415	14,233	818	5,089	2,076	-3,013
秋田県	8,910	13,497	4,587	3,951	911	-3,040
山形県	6,156	8,252	2,096	2,281	627	-1,653
福島県	1,261	1,711	450	458	205	-253
茨城県	4,441	5,558	1,117	1,401	592	-809
栃木県	7,167	8,393	1,226	2,201	618	-1,583
群馬県	377	276	-101	129	59	-69
埼玉県	283	230	-53	98	71	-28
千葉県	383	407	24	161	89	-72
新潟県	7,350	11,711	4,361	2,836	921	-1,915
富山県	6,518	8,314	1,796	3,096	1,624	-1,472
石川県	1,656	2,140	484	545	377	-167
福井県	1,067	1,659	592	479	475	-3
長野県	1,913	2,005	92	594	376	-217
岐阜県	3,136	3,900	764	1,971	1,133	-838
静岡県	130	178	48	40	50	10
愛知県	6,687	5,676	-1,011	3,574	1,245	-2,329
三重県	4,067	4,221	154	2,307	881	-1,425
滋賀県	4,890	6,541	1,652	1,624	1,174	-450
兵庫県	403	552	149	130	140	10
奈良県	73	53	-20	31	22	-9
鳥取県	764	1,004	240	318	317	-2
島根県	734	881	147	351	218	-133
岡山県	279	362	83	119	172	53
広島県	432	517	85	192	191	-1
山口県	683	932	249	362	441	79
香川県	58	85	27	20	31	11
愛媛県	309	408	99	104	69	-34
高知県	193	124	-69	83	40	-43
福岡県	14,104	16,690	2,586	4,454	2,664	-1,790
佐賀県	17,455	21,961	4,506	5,195	1,295	-3,901
長崎県	604	702	98	206	158	-48
熊本県	3,885	4,169	284	1,271	386	-885
大分県	1,597	2,393	796	629	396	-233
宮崎県	218	150	-68	64	0	-64
鹿児島県	310	210	-100	111	0	-111
全国計	173,829	204,007	30,177	58,880	24,211	-34,669

(5) 落札価格

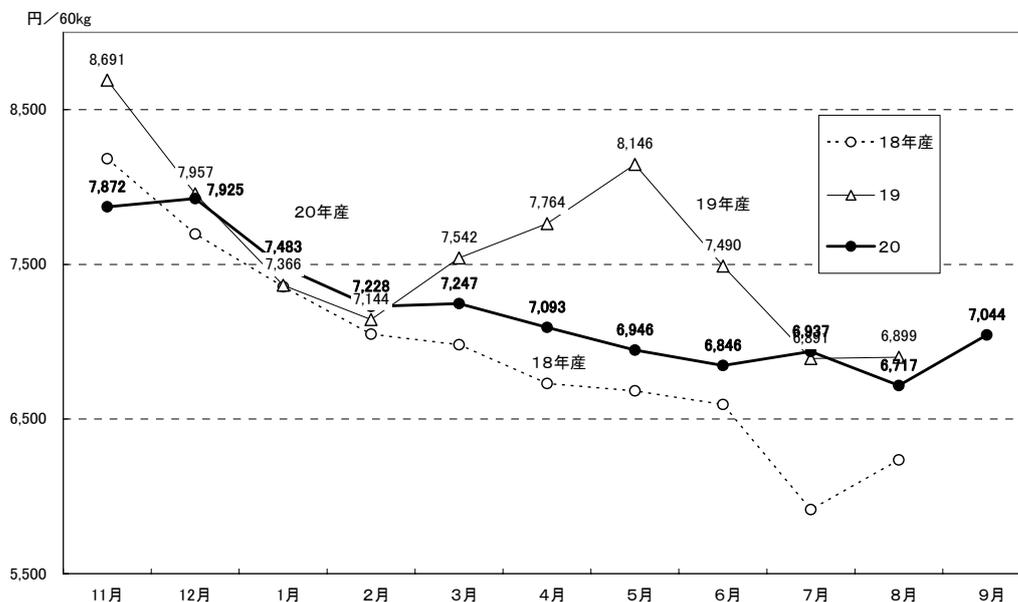
1 俵 (60kg) 当たり年産平均落札価格 (普通大豆) は、前年産 (7, 492 円) から少し下がり、7, 129 円であった。(表 1-1-10)

表 1-1-10 月別平均落札価格 (普通大豆・16~20 年産)

単位：円/60kg

年産	16年産	17	18	19	20
11月	13,150	8,337	8,183	8,691	7,872
12月	13,771	7,602	7,697	7,957	7,925
1月	15,064	7,143	7,355	7,366	7,483
2月	17,679	6,960	7,048	7,144	7,228
3月	19,571	6,934	6,981	7,542	7,247
4月	18,872	6,826	6,730	7,764	7,093
5月	16,794	6,816	6,682	8,146	6,946
6月	13,257	7,395	6,594	7,490	6,846
7月		7,410	5,914	6,891	6,937
8月		6,308	6,236	6,899	6,717
9月					7,044
10月					
年産平均	16,250	7,078	6,937	7,492	7,129

図 1-1-8 月別平均落札価格の推移 (普通大豆・年産比較)



月別平均価格の推移を見ると前年産では、3月~6月に一時的に平均価格が上昇したが、平成20年産では、月を追って徐々に低下する経過を辿った。

主要な産地品種銘柄の落札価格をみると、納豆用銘柄や長野県ナカセンナリ、滋賀県オオツル等の銘柄が前年に比べて下落したが、その他の銘柄は、前年産との価格差は小さいものが多かった。(表 1-1-11)

表 1-1-1 主要産地品種銘柄の落札価格（普通大豆・前年産比較）

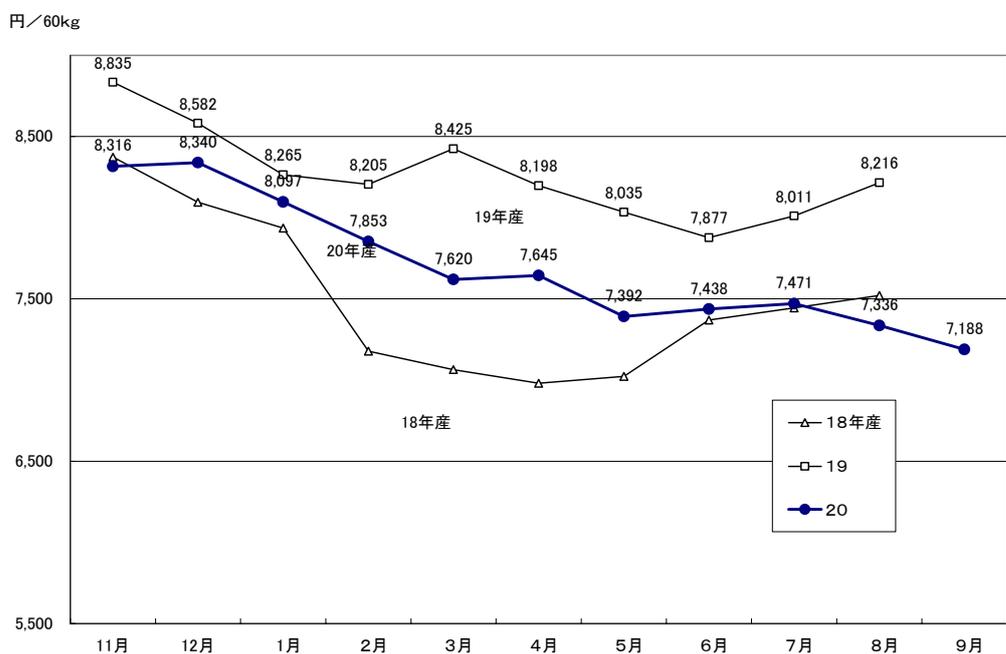
産地	粒別	品種銘柄	落札価格(円/60kg)			落札数量 (トン)	産地	粒別	品種銘柄	落札価格(円/60kg)			落札数量 (トン)
			平成19年産	平成20年産	前年産					平成19年産	平成20年産	前年産	
北海道	大粒	ツルムスメ	8,355	8,075	-280	40	長野	大粒	タチナガハ	6,430	6,447	17	30
	大粒	菅更大袖振	7,334	7,720	386	100		中粒	ナカセンナ	8,860	7,835	-1,025	257
	大粒	とよまさり	8,313	7,470	-843	1,804	岐阜	大粒	フクユタカ	6,999	6,965	-34	693
	中粒	ハヤヒカリ	6,559	5,950	-609	20		大粒	フクユタカ	7,021	7,078	57	812
	小粒	スズマル	17,777	11,611	-6,166	381	愛知	大粒	フクユタカ	6,986	6,897	-89	455
	小粒	ユキシズカ	9,672	11,128	1,456	253		三重	大粒	フクユタカ	6,986	6,897	-89
	中粒	秋田	7,319	6,916	-403	129	滋賀		大粒	オオツル	8,132	7,072	-1,060
	青森	大粒	おおすず	6,672	6,783	111		467	大粒	エンレイ	7,560	7,149	-411
中粒		オクシロメ	6,300	6,674	374	14	大粒	タマホマレ	6,941	6,840	-101	109	
岩手	大粒	スズカリ	7,006	6,643	-363	30	大粒	ことゆたか	6,910	6,792	-118	79	
	中粒	ナンブシロメ	7,964	7,095	-869	420	大粒	フクユタカ	6,897	6,851	-46	307	
宮城	大粒	リュウホウ	7,020	6,369	-651	20	兵庫	大粒	サチユタカ	6,740	6,872	132	99
	中粒	ミヤギシロメ	7,374	7,011	-363	780		大粒	夢さよう	7,193	7,010	-183	41
秋田	大粒	タチナガハ	7,170	6,947	-223	495	奈良	大粒	サチユタカ	6,589	6,715	126	20
	中粒	タンレイ	6,787	6,770	-17	218		鳥取	大粒	タマホマレ	6,433	6,640	207
山形	大粒	あやこがね	7,060	6,798	-262	297	大粒		サチユタカ	6,490	6,703	213	149
	中粒	あやこがね	6,719	6,698	-21	198	島根	中粒	タマホマレ	6,410	6,655	245	20
秋田	大粒	リュウホウ	6,829	6,730	-99	723		大粒	サチユタカ	6,610	6,703	93	149
	中粒	タチユタカ	6,710	6,510	-200	40	岡山	大粒	トヨシロメ	7,635	7,306	-329	60
大粒	すずさやか	9,600	6,360	-3,240	10	大粒		サチユタカ	7,613	7,426	-187	40	
山形	大粒	リュウホウ	6,590	6,622	32	89	広島	大粒	サチユタカ	6,741	6,667	-74	82
	中粒	エンレイ	6,769	6,673	-96	218		山口	大粒	サチユタカ	6,492	6,723	231
福島	大粒	あやこがね	6,300	6,656	356	23	大粒	フクユタカ	6,516	6,806	290	50	
	中粒	タチユタカ	6,434	6,554	120	169	香川	大粒	フクユタカ	8,010	6,894	-1,116	31
茨城	大粒	タチナガハ	6,480	6,713	233	79		愛媛	大粒	フクユタカ	7,799	7,292	-507
	中粒	スズユタカ	6,469	6,661	192	65	高知		大粒	フクユタカ	7,087	7,040	-47
栃木	大粒	タチナガハ	6,747	6,811	64	99		福岡	大粒	フクユタカ	6,862	6,978	116
	小粒	納豆小粒	19,896	10,979	-8,917	218	佐賀		大粒	むらゆたか	7,033	7,046	13
群馬	大粒	タチナガハ	6,859	6,787	-72	435		長崎	大粒	フクユタカ	6,875	7,023	148
	大粒	タチナガハ	6,796	6,756	-40	50	熊本		大粒	フクユタカ	6,802	7,031	229
千葉	大粒	タチナガハ	6,856	8,073	1,217	40		大分	大粒	フクユタカ	6,832	6,976	144
	大粒	サチユタカ	6,546	6,853	307	30	大粒		むらゆたか	6,748	6,860	112	133
新潟	大粒	フクユタカ	6,871	7,005	134	40	大粒	フクユタカ	6,902	7,048	146	89	
	大粒	エンレイ	7,352	6,610	-742	723	全国		7,492	7,129	-363	21,730	
富山	大粒	オオツル	6,936	6,776	-160	69							
	大粒	エンレイ	7,759	6,831	-928	584							
石川	大粒	エンレイ	6,510	6,711	201	130							
福井	大粒	エンレイ	6,939	6,688	-251	188							

注. 各地方ごとに落札数量が比較的多く、代表的な銘柄を表示した。大粒・中粒銘柄については、原則として、大粒を取り上げたが、中粒が大粒より多い銘柄は、中粒のみ又は大粒、中粒を共に示した。

主要産地品種銘柄のうち、代表的なものの月別落札価格の推移を過年産と比較したグラフを以下に示す。

主に煮豆等に仕向けられる北海道産とよまさりは、前年産を下回る水準で推移した。豆腐に仕向けられる九州産フクユタカ、新潟産エンレイは、前年産並の水準で推移した。(図 1-1-9~11)

図 1-1-9 北海道大粒とよまさり（普通大豆）



主に豆腐用に仕向けられる銘柄のうち、九州産フクユタカは、前年並み、新潟産エンレイは、前年産を下回る水準で推移した。（図 1-1-9～11）

図 1-1-10 佐賀大粒フクユタカ（普通大豆）

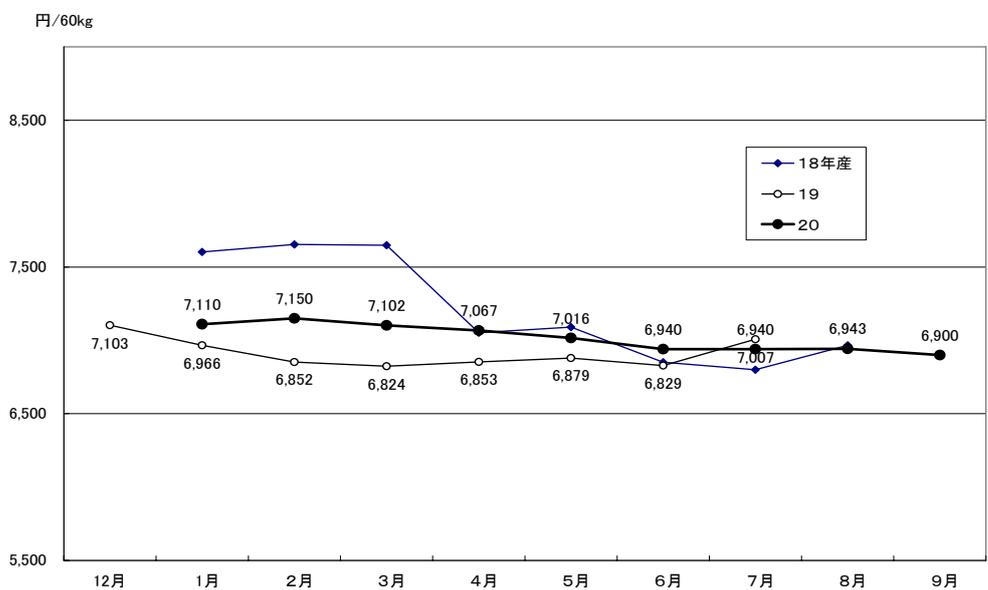
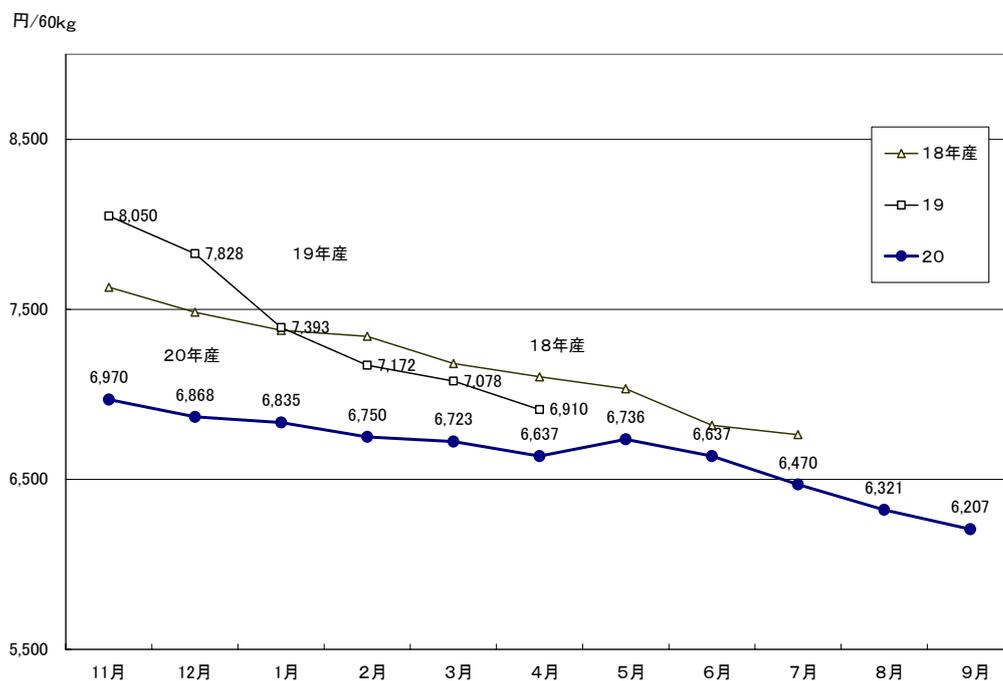


図 1-1-11 新潟大粒エンレイ（普通大豆）



代表的な納豆用銘柄である北海道産スズマルは、12月、1月は、前年産を上回ったが、その後、横ばいで推移した。茨城県産納豆小粒は、前年産を大きく下回り、平成18年産に重なる水準で推移した。（図1-1-12～13）

図 1-1-12 北海道小粒スズマル（普通大豆）

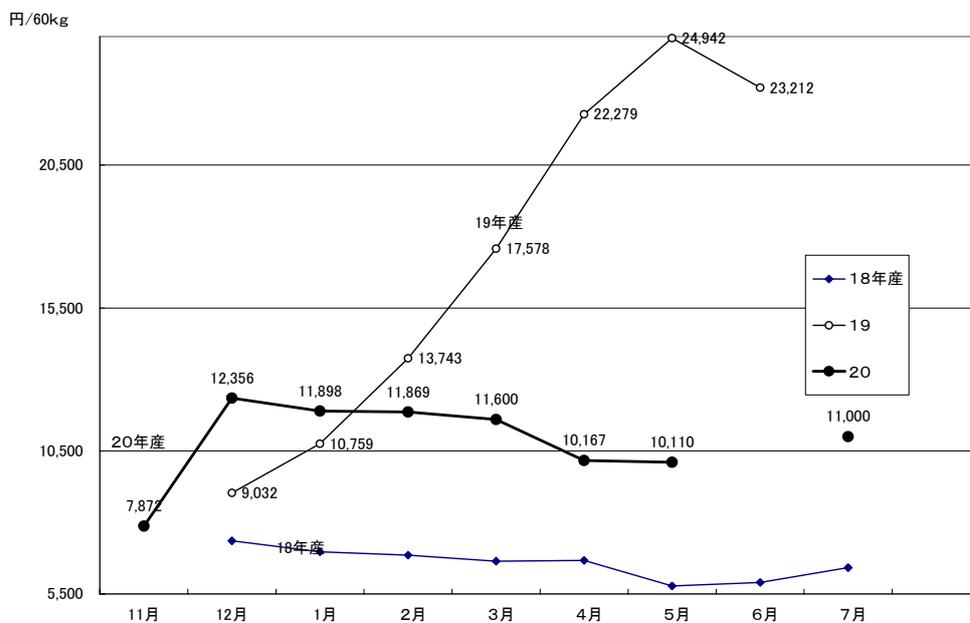
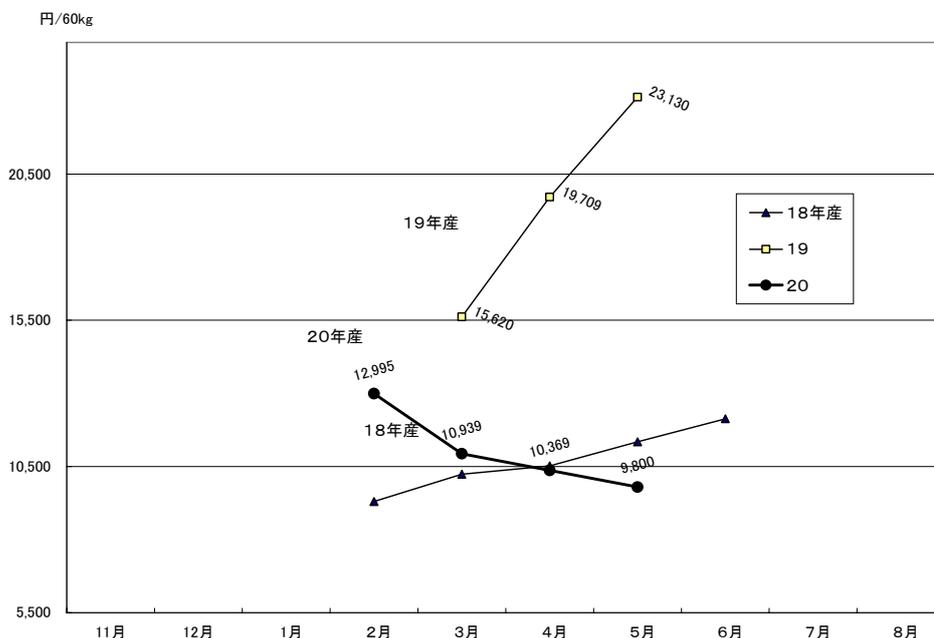


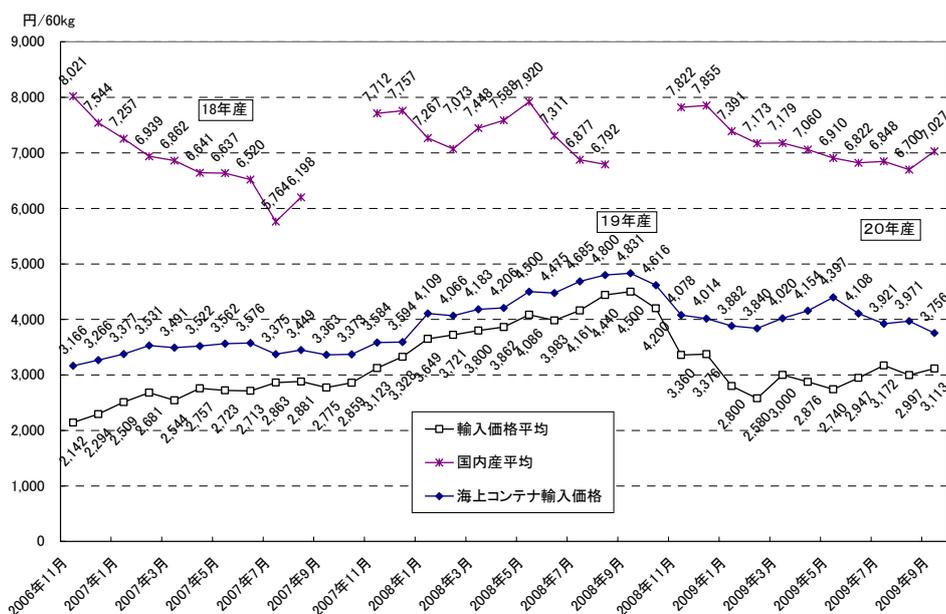
図 1-1-13 茨城小粒 納豆小粒（普通大豆）



内外大豆価格の推移を図 1-1-14 に示す。

世界的な穀物価格の高騰した時期と重なった平成 19 年産大豆の出回り時期には、輸入大豆の価格は、4000円を超えて内外価格差が縮小したが、平成 20 年産の出回り時期に至って輸入大豆の価格は 3000円程度に下がり、再び価格差が拡大する状況にある。

図 1-1-14 内外大豆価格の推移



注. 輸入価格は、財務省貿易統計による。国内産は、普通大豆、特定加工用大豆を合わせた平均落札価格である。